

公益社団法人 大阪府柔道整復師会
平成30年度大阪柔整少年少女柔道大会
(中学生男子団体の部・中学生女子個人の部)
実施要項

- 1、主 旨 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に期することを目的とする。
 - 2、主 催 公益社団法人 大阪府柔道整復師会
 - 3、後 援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市・大阪市教育委員会、NHK大阪放送局
大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、大阪府柔道整復師協同組合
 - 4、大会日時 平成30年8月26日(日)午前10時開会
 - 5、大会会場 大阪柔整会館 5階柔道場
 - 6、参加資格 出場選手は、『全日本柔道連盟』登録済みであること。
団体戦の部:大阪府内在住、在籍の団体に所属する者で中学生男子の自由参加
個人戦の部:大阪府内在住、在籍の団体に所属する者で中学生女子の自由参加
※但し、他の団体との混合したチームの参加は認めない。
 - 7、試合方法 ① 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。
② 個人戦において、「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「指導差2」以上とし、「指導差1」または同等の場合は僅差をもって勝敗を決する(GSは行わない)。
団体戦において、「指導差1」は引き分けとし、勝敗は勝点の数により決し、同点の場合は内容によって決する。内容も同じ場合は任意による代表戦を1回行い必ず勝敗を決する(GSは行わない)。
③ 試合はトーナメント方式とする。
④ 試合時間は3分間とする。
但し、決勝戦(個人戦)においてはロスタイム有とする(GSは行わない)。
⑤ 逆背負投げは禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。
⑥ 「両袖を持って施す投げ技」を禁止とし、施した場合には「反則負け」とする。
⑦ その他不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。
 - 8、選手構成 団体戦の部:監督1名 選手3名(3・2・1年生)
個人戦の部:監督1名 参加資格を有する者
ア) 1団体につき1チームまでの出場を認める。
イ) 団体戦は下位学年が上位学年に出場する事を認める。但し上位1学年までとする。
ウ) 監督は必ず1名を要し、チームの一切の責任を負うものとする。
エ) 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。
(上部に個人名、下部に団体名を明記する事)。
 - 9、表彰 優勝・準優勝・3位には賞状等を授与する。
団体戦において、技能優秀選手には優秀選手賞を授与する。
 - 10、参加費 無 料
 - 11、備考 ① 本大会は大阪府柔道連盟の公認試合なので成績表を持参する事。
② 参加選手は必ず保護者の承諾を得ること。
③ 本大会における負傷等については応急処置の他、主催者は一切その責を負わない。
④ 大会当日、体調不良の者は出場しないこと。
⑤ 選手の変更は開会30分前で締切る。
⑥ 審判、監督会議を9時30分より、2階役員会議室にて実施する。
 - 12、申込期限 平成30年7月27日(金)
 - 13、申込方法 本会ホームページ(URL:<http://www.osaka-jyusei.or.jp/>)にアクセスして必要事項を記入の上、主催者までE-mail(jyudou@osaka-jyusei.or.jp)にてお申し込み下さい。
- < 注 意 事 項 >
- ・大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
 - ・大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)。
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ※ ・会場内が大変混雑しますので、選手、監督、コーチ(各1名)以外の方の試合場入場は固くお断りします。ご父兄、その他の方は2階観覧席でご観戦下さい。
・監督・コーチの服装は審判員に準じた服装でお願いいたします。
・駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。